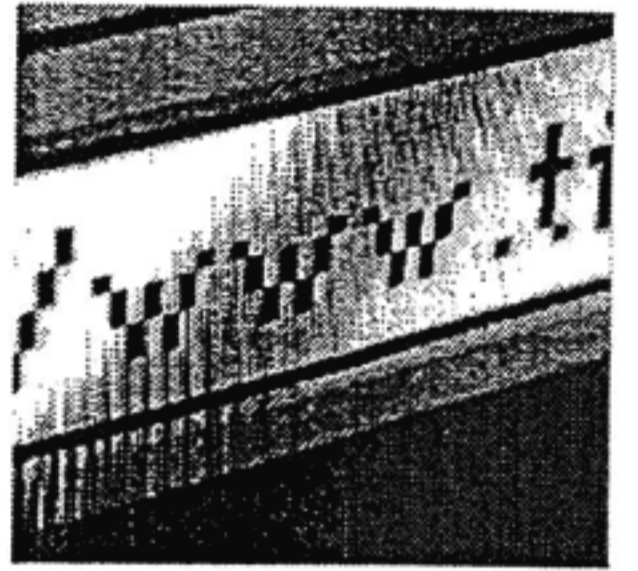


二、情報出版企業として

⑥社内体制



編集企画部に〇〇・〇〇が入社した平成二年頃は、組織体制の揺籃期でもあった。

創部以来三年半を経過した営業部は〇〇・〇〇・〇〇のメンバーに新たに数名を加え、男性五名、女性二名の計七名程のグループに育っていた。書籍の取扱い量も増え、それまで営業部員や経理担当者も兼務していた事務作業も次第に専任者を必要とするようになり、営業部はアポインターの増員とともに事務部門の強化という課題を抱えるようになった。又、平成二年四月には日本地熱学会がつくば市からNTS内に移転することになり、学会事務業務が稼働を始めた。社内でのパソコン利用が本格的になり始めたのもこの頃である。また名称こそなかったものの、学会事務と社内でのコンピュータ化への対応という現在の総務部の主要業務も現われ始めた。こうしたニーズを満たす形で、各部門の採用も活発に行った。当時、各部門の専任者として入社した社員は既に入社約十年を数え各部門に欠かせない人材として会社の基礎を支える力となっている。以下、部門毎にその動きを辿ることにする。

営業部は平成二年の七名体制から、平成三年に入ると四月に学生アルバイトが二名、十月からは〇〇〇〇現営業部課長代理と当時大学二年生の三名の若い力が加わった他パートの女性二名も新たに入社し、常時十名程の部員が在籍するようになった。営業事務部門は、発送業務の他アポ台帳作成業務と入金チェック業務とに分かれる。書籍の発送業務は電話営業開始直後は営業部員が兼務していたが、昭和六十二年四月に専任者が入

社した。彼女は平成二年十月まで勤め、その後十月に〇〇〇〇(現エヌエスハイテック)が十一月に〇〇〇〇(同)が相次いで入社した。営業部員の増員に比例して増大する発送数に対応しての二名体制であった。アポ台帳は、最初の頃は〇〇〇〇が書籍毎に手書きで作成していた。当時手書き台帳は営業部の情報の全てであり、常にアポインターの奪い合いの状態だった。鈴博ビル転居後専任者が入社し、ほぼ半年毎に担当者が交替した後、台帳の手書きからコンピュータ化への移行期である平成三年九月に〇〇〇〇現営業部係長が入社した。平成三年七月の「表面科学の基礎と応用」以降

発刊した書籍は全てパソコン入力となり、それまで問題の多かった手書きによるミスは殆ど無くなった。入金チェック業務は当初昭和六十三年三月に入社した経理担当の〇〇〇〇〇〇が兼任していたが次第に業務が困難となったため、経理補助として〇〇〇〇(現日本伝熱学会)を採用した。〇〇〇〇はフジテック時代にセミナーや出版でお世話になったご主人との縁で、設立直後の昭和六十年頃から宛名書きのアルバイトを依頼していた。入社当初、経理補助として入金チェック業務等を担当していたが、平成三年十月にNTS内に事務局を設置した日本伝熱学会にその後席を移した。現在、入金チェックは業務課内において〇〇〇〇が担当している。

こうして、この時期現在の営業部の基本的な枠組みが整って来た。不安定だったスタッフも次第に安定するようになり平成三年七月頃には、〇〇〇部長以下営業部はアポインター約十名、発送二名、

台帳管理一名、入金チェック一名の総勢十五名程の体制を敷くまでに成長していた。既に、六階の二部屋だけでは狭さを痛感するようになり、地熱学会事務局の入居に合わせ平成二年四月、新たに五〇一号室を契約し三部屋体制となった。

こうした動きの中で、編集企画部では「学会誌」の撤退の後、書籍の制作に積極的に取り組むことになった。執筆者百名・B5版千頁のいわゆる「大型本」は、それまでに「設備異常診断と予知保全」(発刊◆昭和六十三年七月)を手掛け、平成三年七月の発刊まで五年の歳月を要した「表面科学の基礎と応用」も最後の追込みに入っていたが、いずれも結果的にフジテックとの共同出版となった。企画編集を全て自前で手掛けながら、印刷段階になつて資金不足故の苦渋の選択であっただけに自社出版に対する執念のようなものがあつた。その執念が実った初の自力発刊による大型本「吸着技術ハンドブック」(発刊◆平成五年二月)を〇〇〇〇が作り始めたのもこの頃である。

総務部も上述の通り、この頃から実質的な活動を始める。それまで、会社の総務的業務は経理が中心であったが、学会事務局業務やコンピュータへの対応業務が増え、当初編集企画部員として入社したイベント事業等に私と共に取組んできた〇〇〇〇現取締役総務部長が、次第に編集企画を離れ総務関係を担当するようになった。

こうして平成二年から三年にかけて、科学技術情報部を除く現在のNTSの組織の枠組が整い始めていた。第六期、第七期の二年間とはこうした組織編成の時期に当たっていたのだらう。こうした動きの中で、第六期(平成二年七月)平成三年六月)の売上は一億六千万円と対前年比八%増に留まったものの、第七期(平成三年七月)平成四年六月)の売上は二億四千万円と対前年比五十%の会社設立以来最高の伸びを示した。「表面科学の基礎と応用」(発刊◆平成三年八月)の刊行が売上げに寄与したのである。「表面科学の基礎と応用」は売上への貢献に加え、NTSがコンピュータ化を進めるための橋頭堡の役割を果たした書籍でもある。今回は、その話にしたい。

掲示板

年末年始の出勤について

十二月二十八日(火) 仕事納め
一月 五日(水) 仕事始め(十時出社)

今月の人事

十二月一日入社 営業部
十二月六日異動 市川
十二月十五日退社 営業部
十二月二十一日退社 NSハイテック

社内清掃について

次の日程で、本社事務所内の床掃除を行いますので、宜しくお願い致します。当日休日出勤の予定がある場合は作業に支障がありますので、必ず総務部に連絡して下さい。

一月二十三日(日)

編集後記

「私のふるさと」は、本号をもってひとまずお休みさせていただきます。私が田舎から東京に出てきたせい、このコーナーには特に愛着を感じておりました。いままでご愛読いただきありがとうございます。

さて、今年もあつという間におわつてしまいました。一九九九年は皆さんにとってどんな年だったでしょうか。私にとつてこの一年は……この話は長くなるので田舎で待っている両親とゆつくりとすることにします。

最後に、皆さん今年一年お疲れさまでした。どうぞ良いお年を！。(伊)

NTSニュース一九九九年十二月号(通巻十八号)

一九九九年十二月二十五日発行